**横須賀市小学校の修学旅行先についての請願**

三月の福島第一原発での事故以来、未だ原子力緊急事態宣言が解除されないまま七か月がたった今、次々と放射能汚染の事実が明らかになってきました。

子ども達が修学旅行に行く栃木県日光市は、放射性物質に高濃度に汚染され、本来なら放射線管理区域に指定され立ち入ることが許されない所です。その上日光市は文部科学省が行った航空機放射線測定で高濃度汚染が判明したにもかかわらず、土壌調査など一切行わぬまま安全宣言をしました。そのため今年度、日光市への修学旅行に対する不安を払拭しきれず不参加にせざるを得なかった家庭もあります。

　放射線被曝リスクには＜これ以下なら大丈夫＞というしきい値がありません。ＩＣＲＰ（国際放射線防護委員会）は**ＡＬＡＲＡ**「社会的，経済的な要因を考慮して**合理的に達成できる限り低く保たなければならない**。（As low As Reasonably Achievable）」を提言しています。学校行事という名目で半ば強制的に汚染地へ子ども達をやることに疑問を持たざるを得ません。

原発事故時から子ども達は外部、内部ともに少なからず被曝しています。未だ事故前よりも線量が高い横須賀市から離れ、勉強のみならず体を休める意味でも、非汚染地域への修学旅行を設定して頂き、保護者も安心して送り出せるようお願いしたく思っております。

子ども達の健康は、何物にも代え難く、私達大人で守っていかなくてはならないと考えております。

**栃木県日光市から非汚染地域へ、修学旅行先を変更して下さい**

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　平成２３年１１月１５日

横須賀市議会御中

　　　　　　　　　　　　　　　　　　住所　神奈川県横須賀市

　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏名